

華族世襲財產法改正法律案特別委員會會議事速記第一號

委員氏名

委員長

公爵德川 慶久君

副委員長

富井 政章君

委員

伯爵柳澤 保惠君

男爵小澤 武雄君

子爵平田 東助君

子爵岡部 長職君

子爵三島彌太郎君

子爵酒井 忠亮君

子爵水野 直君

男爵有地品之允君

男爵酒井 忠亮君

岡野敬次郎君

男爵田 健治郎君

男爵本多 政以君

桑田 熊藏君

大正四年十二月十八日(土曜日)午前十時二十三分開會

○委員長(公爵德川慶久君) ソレデハ是カラ開會ヲ致シマス、先ア質問ヲ初メニ願ヒ
タイト存シマスガ、大體ニ互ル質問デモ或ハ逐條ニ互ル質問デモ御隨意ニ御尋ラ願ヒタ
イ

○子爵酒井忠亮君 質問ヲ致ス前ニ此提出ノ理由ヲ政府ノ方カラシテ御説明ヲ先キ
ニ願ヒタイト存シマスガ……

○國務大臣(尾崎行雄君) 總理大臣ガ出テ御話ヲ致スベキ筈デアリマスガ今朝少シ
身體ノ工合ガ惡イト云フコトデ、或ハ午後ニナッタラ出ラレカ知ラヌガ、今朝ハ暫ク醫
者ノ勸メニ依ッテ靜養ヲ致シタイト云フコトデ閣席イタシテ居リマスカラ、大體私カラ説明
イタシマス、大體ノ趣意ハ昨日、本會議ニ於テ總理大臣カラ一通リ説明ガアッタノデ
アリマスガ、略、其趣意デ華族ノ品位ヲ保ツガ爲ニ世襲財產ノ必要デアルト云フ意味デ、
明治十九年デアリマシタカ現在ノ規定ガ出來テ居リマス、然ルニ爾來年所ノ經久シキ
ニ從ッテ時勢モ大ニ變化ヲ致シテ、其爲ニ帝室制度取調局總裁デアッタ伊藤公ノ如キ
モ先年世襲財產法ヲ改正スルノ必要ガアルト云フ意味ノ上奏ヲセラレテ居ルヤウデアリ
マス、爾後引續イテ矢張り世間ノ問題トナッテ居ッタデアリマスガ、前回臨時議會ニ於
テ愈々提案ノ運ビニナッタデアリマス、今回ノ提案モ略、同一ノ趣意ニ外ナラヌデアリマス
ガ、現在ノ制度ハ財產ノ制限ナドガ餘リ窮屈ニ出來テ居ル、且ツ之ヲ取換ヘテ甲ノ財
產ヲ乙ニ取換ヘルト云フヤウナ場合ニ於テ或モノハ許シ、或モノハ許サヌト云フヤウナ制
限ガドウモ窮屈デアリマスカラ、此範圍ヲ擴メルト云フコトモ一ツノ趣意デアリマス、ソレ
カラ又十七條デゴザイマスガ、宮内大臣ノ認可ヲ受ケ其全部又ハ一部ヲ廢止スルコト
ヲ得「ト云フコトニシテ、コノモ多少ノ自由ヲ與ヘルト、云フコトニシテ、大體ハ世襲財
產法制定ノ趣意ニ於テ變ルコトハナイデアリマスガ、其趣意ヲ實行スル上ニ於テ時勢
ノ變化ニ伴フデケノ改正ヲ致シ、一方ニ於テハ自由ヲ與ヘルト同時ニ一方ニ於テハ財產
ノ制度ヲ愈々確實ニスルコト云フ目的ヲ達シタイノガ本案提出ノ大體ノ意味デアリマス、
尙ホ詳シキコトハ政府委員ヨリ御答辯ヲ致ス都合デアリマスルガ、大體詰リ時勢ノ變化
ニ伴ウテ法律ノ改正ヲ致シタイト云フニ外ナラヌデアリマス

○富井政章君 大體ニ付テ質問ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(公爵德川慶久君) 宜シウゴザイマス

○富井政章君 現行ノ華族世襲財產法ハ明治十九年ニ制定セラレマシテ、爾來三
十年ヲ經過シタデアリマスガ、其間ニ社會ノ狀況ガ餘程變テ來テ居リマス故ニ、自
ラ現行法ニハ不備ノ點ガ多クアリマシテ、早晚改正ヲ要スルコトハ誰モ認メテ居ルコトデ
アリマス、併シ此改正ヲ行フト云フコトハ實ニムツカシイ問題デアリマシテ、現行法ニ手ヲ
著ケナイナラバ別ニ議論モ起ラズシテ済ムデアリマスルガ、之ニ手ヲ著ケルト云フコトニナ
リマスルト、種々ノ難問題ガ起ラウト思ヒマス、各條ノ規定ニ關スル細目ヲ申上ゲルノデ
ハアリマセヌ、此法律ノ全體ニ互ル根本問題ガ幾ラモアルト考ヘマス、ソレデ今日改正
案ヲ御提出ニナリマシタニ付テハ私ハ二根本ノ點ニ關シテ政府ニ質問イタシタイト思
フデアリマス、混雜ヲ避クル爲ニ私ノ疑問ハ二ツニ分ケテ申上ゲマス、第一ノ疑問ハ現
行法竝ニ今回提出ニナリマシタ改正案ニ依レバ、華族ノ世襲財產ト云フモノハ、之ヲ
設定シ又ハ增加スルコトヲ得トナッテ居リマス、即チ設定スルト否トハ各人ノ自由ニ任セ
デアリマス、即チ何程財產ガアツテモ世襲財產ト云フモノハ必ず設ケネバナラヌモノデハナ
イ、設ケテモ設ケナクテモ宜イト云フコトニナッテ居リマス、即チ強制的ノ制度デアリノデア
ル、若シ華族ノ品位ヲ保チ華族ノ家ヲ維持スルニ世襲財產ト云フモノガ果シテ必要デア
ルト云フナラバ斯ノ如キ自由制度デナクシテ、強制的ノ何程カノ財產ハ必ず世襲財產トセ
ネバナラヌト云フコトニシナケレバ立法ノ趣旨ヲ貫徹シナイデアリマス、今日現行法ニ手ヲ著
ケルト云フナラバ其點ハ大ニ考ヘ要スルコトデアラウカト思ヒマス、政府ハ此點ハ現狀ノ儘
デ差支ナイト云フ御意見デアルカ之ヲ伺ヒタイ第二ノ疑問ハ今一步ヲ進メテ考ヘマス、
華族ノ品位ヲ保チ華族ノ家ヲ維持スルノ必要上ヨリシテ世襲財產ヲ設定スルコトヲ得
ルト云フコトハ、果シテ華族ニ限ルベキコトデアルヤ、是亦大ニ疑問所デアリマス、固ヨリ
華族ニ付テハ一層其必要ガアルト考ヘルノデアル、ソレハ勿論ノコトデアル、併シ華族以
外ノ家デアツテモ隨分歷代由緒ノアル家デアツテ、一朝放蕩者ナドガ出テ財產ヲ蕩盡シ
テ家ヲ潰スト云フヤウナコトガアツテハナラヌ、ソレヲ防グ爲ニ世襲財產ヲ設ケルト云フコト
ヲ許シテ適當ナルコトデアリマス、何モ華族ノ家デアツテ隨分永代ニ存續セシムルコトノ望
リマス、唯今申上ゲマシタ通り、華族デアリ家デアツテ隨分永代ニ存續セシムルコトノ望
マシイ家ハ澤山アルト思ヒマス、ソレガ一時品行ノ修ラナイ者ガ戸主トナリ其ノ財產ヲ蕩
盡シテシマフト云フコトハ、事實ニ於テ屢々見ル所デアツテ、誠ニ遺憾ナコトデアルト思ヒマ
ス、果シテサウデアレバ此制度ハ根本的ニ言ヘバ、華族ニ限ルコトデアリマス、強制的ニ世
襲財產ヲドウシテモ設ケネバナラヌト云フ制度デアレバ、或ハ其範圍ヲ餘リニ廣クシテハ
宜シクナイカモ知レマセヌガ、現行法及此改正案ニ於ケル如ク、設ケケレバ設ケヨ、設
定スルコトヲ得ト云フ主義デアツテハ、尙更華族ノミニ限ルト云フコトデアリマス、立タナイ
コトデアリナイカト思ヒマス、斯ル制度ガ必要デアルトスレバ華族ニ限ラズシテ寧ロ如何ナル
家デアツテモ斯ウ云フコトガ出來ルト云フコトニシタ方ガ宜シクハナイカ、サウスレバ此法律

ノ存廢問題トナル位デ、華族世襲財產法デナイ、一般民法ノ問題トナルノデアリマス、況ク家産制度ト云フモノヲ設クルガ宜イカ惡ルイカト云フ國民全體ノ家族制度ニ關スル根本問題トナルノデアリマス、政府ハ今同此法律案ヲ提出スルニ當ッテ、或ハツレハ宜イカモ知レヌガ、サウ云フ大キナ問題ニマテ手ヲ著ケル考デハナイ、唯目下ノ必要ニ應ジテ或一二ノ點ニ改正スルルノ主意デアルト答辯セラルデアリマセウケレドモ、已ニ現行法ノ改正ニ著手セラルル以上ハ今申上ゲタヤウナ根本問題ヲ看過スルコトハドウデアラウカト……是ハ如何ニモ重大ナ問題デアル、私ハ主義トシテハ是ハ華族ニ限ルモノデハナイト思フ、果シテ必要デアルトスレバ民法一般ノ問題トシテ攷究セネバナラヌコトデハナカラウカト平生思ウテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ大キナ問題ハ尙ホ多年ノ研究ヲ要スル、一朝一夕ニ決定スルコトハ出來ナイト云ヘバツレ迄デアリマスルケレドモ、今回ノ改正案ヲ提出スルニ當ッテ政府ハサウ云フ根本ノ點ニ付テドウ云フ考ヲ持ッテ居ラルデアリカ、ツレバ伺ヒタイノデアリマス、第三ノ疑問ハ現行法並ニ此改正案ニ依レバ世襲財產ト爲スコトヲ得ベキ財產ノ種目ハ限ッテハアリマスケレドモ、其種目デサヘアレバ全部ト雖モ之ヲ世襲財產トナスコトヲ得ルノデアル、ツレ故ニ、華族ノ家ニ依ッテハ其財產ノ殆ド全部ヲ爲シテ居ルカモ知レナイ、財產ノ殆ド全部ニ至ルマデ、之ヲ世襲財產ト爲スコトヲ得ルノデアル、即チ先刻第一ノ疑問トシテ申上ゲタコトト甚ダ平仄ガ合ハナイト思フ、世襲財產ト云フモノハ、設ケテモ設ケナクテモ宜イ、少シモ設ケナクテモ差支ナイノデアル、併シ又殆ド全部ヲ舉ゲテ世襲財產ト爲スコトモ差支ナイ、何レノ極端手段ヲ取ルコトモ出來ルノデアル、家ヲ維持スル必要ノ限度ヲ超エテ……例ヘバ家ヲ維持スルニハ財產ノ半分ヲ世襲財產トスレバ十分デアデモ、殆ド其全部マデ世襲財產トスルコトガ出來ルト云フノデアル、殆ド全部ニ近イ部分ヲモ不融通物ト爲シテ仕舞フコトガ出來ル、是ハ經濟學者ナドカラ言ヘバ大ニ議論ノアル問題デアラウト思フ、併シドウモ此點ガ私ハ筋途ノ通ッテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、ツレデアリマスカラ今度ノ改正案ノ如キニモ、一部ノ解除ヲ許スト云フヤウナ規定ヲ設ケネバナラヌコトニナルノデアラウト思フ、一部解除ドコロデハナイ全部解除ヲモ宮内大臣ノ許可サヘアレバ出來ルコトニナッテ居ル、其位ナラバ寧ロ初メヨリ財產ノ殆ド全部マデ世襲財產ト爲スコトヲ得ルト云フヤウナコトヲセズシテ……病人ヲ作ッテカラ醫者ヲ呼ブト云フコトニセズシテ、初メカラ病人ノ出來ナイヤウニスルト云フ方ガ宜イノデハナイカ、即チ世襲財產ト爲スコトヲ得ベキ財產ノ最高限ヲ定メ、例ヘバ家ヲ維持スルニ必要ナル限度……抽象的ニ言ヘバ家ヲ維持スルニ必要ナル限度トカ……半分トカ幾ラトカ云フコトハ餘リ杓子定規ニ失シテ宜クナイト云フデアリマセウカラ、今申サヤウナ標準ヲ定メ、宮内大臣ガ相當ノ諮詢機關ニ諮ッテ決定スルト云フヤウナコトニデモスレバ幾ラカ弊害ヲモ防ギ、經濟學者ノ非難ヲモ防ギ、而シテアトカラ一部解除トカ全部解除トカ云フヤウナコトヲセヌナラヌヤウナ必要モ生ジテ來マイ、ドウモ改正スル位ナラハ今少シ幅ヲ擴ゲテ筋途ノ立ッタヤウナ改正ニナレバ尙更結構デアルト思フノデアリマス、私ハ必シモ本案ニ反對ノ趣旨ヨリ申上ゲルノデハナイ、今日改正ニ著手スルト云フナラバ、今申上ゲタ二三ノ要點ヲ眼中ニ置カナイト云フコトハ、ドウモ出來ナイコトデアラウト思フ、何トカサウ云フ點ニ付テ見解ハ定マデ居ラヌナラヌコトト信ズルノデ先以テ唯今申上ゲタ二三ノ點ニ付テ明瞭ニ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(高橋作衛君) 唯今富井博士ヨリ御尋ニナリマシタル所ノ根本義ニ關スル御質問ニ付テ御答辯申上ゲマス、今回ノ改正案ハ現行法ノ取ッテ居リマスル所ノ根本義ヲ動カスト云フ考デ草案シテハゴザイマセヌ、先キホド大體ノ理由ヲ司法大臣ヨリ述ベラレマシタ如ク、現行法ノ起草ノ際ニ於テ……現行法ハ即チ明治十九年ニ於テ起草セラレタ、其當時ノ書類ヲ見マシタルニ云フト、華族ガ皇室ノ藩屏デアルト云フト、其藩屏タル所ノ趣意ヲ實イテ、之ヲ鞏固ナルモノニスルト云フ爲ニ、財產ト云フモノヲ世襲ニ致シテ此目付テ達シ、且ツ父祖ノ賢ハ之ヲ子孫ニ望ムコトガ出來マセヌト云フコトガ已マヲ得ザル次第デゴザイマスルカラシテ、ツレデアラウ將來ニ即チ父祖ノ如キ賢者ガ出ナイ場合デモ、財產ヲ維持シテ、サウシテ華族タル所ノ體面ヲ全クシテ、皇室ノ藩屏タル所ノ實ヲ舉ゲタイト云フ、斯ウ云フコトノ御趣旨デ現行法ガ出來テ居ルト云フ次第ニ、記録ニ依ッテ證明スルコトガ出來マスノデアリマス、其根本義ハ今日ニ於テモ變リマセヌノデ、其主義カラシテ今度ハ其世襲財產法ヲ決定イタシマシタケレドモ、其當時ノ事情ト今日ノ事情トハ違ッテ居リマスルカラ、今日ノ事情ニ適應スルヤウナ工合ニ、根本義ハ動カサズガ融通ノ付クヤウナ、世情ニ適應スルト云フヤウナ箇條ヲ改正シテ行キタイト云フ斯ウ云フ積リテ改正案ガ提出ニナッテ居ル次第デアリマス、而シテ第一ニ御尋ニナリマシタル所ノ、現行法モ矢張り第一條、改正案モ第一條ニ於テ共ニ世襲財產ヲ設定シ又ハ之ヲ増加スルコトヲ得ト云フコトニナリマシテ、強制的デナイト云フ點ニ關スル御質問デゴザイマスルガ、是ハ矢張り此改正案ニ於キマシテモ現行法ノ根本義ヲ改正スルト云フ程マデノ必要ハ認メナカッタノデアリマシテ、主義ハ現行法ノ儘デ以テ、先ヅツレテ此世襲財產法ノ目的ハ達シ得ルモノノト斯ウ考ヘマシテ、而シテ唯今強制的ニシタ方が趣意ハ貫ク、少クモ何程カハ之ヲ強制的ニスル方が必要デハナカラウカト云フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ矢張り現行法ノ制定ノ當時ニ矢張り餘ホド詳シク審議ニナッテ居リマスノデゴザイマシテ、幾ラカ強制的ニスルガ宜カラウ斯ウ云フ意味デ、純收益五百圓以下ニナッテハナラヌト斯ウ云フヤウナ程度ヲ作リマシタノデゴザイマスルケレドモ、併シ其點ニ關シテハ又能ク熟考イタシマスルト華族ノ生計ト云フモノハ必シモ一樣デアリマセヌノデゴザイマス、或限度ヲ限定シテ、ツレデアラウ其是非強制的ニ世襲財產トセヨト云フコトハ實際ノ事情ニ合ハナイ、サウ云フコトハアリ得ナイノデアリマス、現行法制定ノ當時モ五百圓ト云フ額ニナッテ居リマスルケレドモ、是ハ千圓ガ適當デアラウト云フ其當時色々議論ガゴザイマシタ、結局其當時ハ五百圓ト云フ限度ヲ作リマシタガ、要スルニ世襲財產ヲ設定スル場合ニ於テハ先ヅ是ハ宮内大臣ガ實際上カラ調節シテ行ッテ、其限度デ其高ラ極メ、サウシテ其高ラ極メルト云フコトニ付テモ強ヒテツレダケノ高ト云フモノヲ是非ヤラネバナラヌト云フコトニ強制的ニハセヌト云フ意味ニシテ現行法ガ出來テ居ルノデアリマス、其趣意ヲ強ヒテ變ヘルト云フコトヲ認ムル程ニ世ノ中ノ事情ガ變タト云フ譯デアゴザイマセヌノデアリマスカラ、矢張り實際上ノ調節ヲ計ッテ設定スルト否トハ是ハ自由ニ致シマシテ、又設定スル高モ無論實際ノ調節ニ委セタイ、斯ウ云フ工合ニシテ草案ヲ立テ次第デアリマスル、要スルニ此現行法ノ規定ヲ改メルコトヲ必要トスル程ニ世ノ中ノ事情ハ變テ居ラナイ、斯ウ云フ考デゴザイマス、第一ノ點ハツレダケ御答イタシテ置キマス、是ハ要スルニ實際ニ上デ調和ヲシタイ、斯ウ云フ積リデアリマス、第二ハ實ニ大ナル問題デゴザイマシテ成程

外國等ノ例ヲ見マスルト家産法ト云フモノガゴザイマス、是ハ一般民法ニ關スル所ノ大問題デゴザイマスガ、今回ノ華族世襲財産法ニ關シテハサウ云フ廣イ所ニマデハ觸レナイ積リテゴザイマス、詰リ先程申シマシタ如ク此現行法ノ出來マスル當時ニ華族ノ皇室ノ藩屏タルト云フコトニ鑑ミテ、ソレカラ其財産ヲ維持シテ、サウシテ其體面ヲ保ッテ行クコトノ出來ルヤウニスルト云フ考デ出來テ居リマスモノデアリマスルカラ、矢張り其範圍内ダケテ以テ當世ノ事情ニ適應セヌ所デケラ改正シタイト云フ積リデアリマス、尙ホ是ハ他ノ家ニ及ボスベキヤ否ヤト云フコトハ又大ナル問題デゴザイマスルカラシテ別ニ研究スルコトニ致シマス、今日ノ所デハ現在アリマスル所ノ華族世襲財産法、其財産法ノ起草當時ノ精神ニ顧ミテ、サウシテ改正シテ行キタイ、斯ウ云フ積リデアリマス、敢テ其大問題ノコトニ關シテ異論ノアル次第デハゴザイマセヌ、是ハ大問題デアリマスルカラ、別ニシテ今日ノ所デハ現在ノ世襲財産法ヲ改正シテ行キタイ、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレカラシテ財産ノ種目ヲ色々列舉シテ居ル、此總テニ對シテ華族世襲財産トスル、全部ヲ世襲財産トスルコトヲ得ル、是ハ即チ財産ヲ不融通トスル、殊ニ國債トカ株式……株券ヲ不融通トスルト云フコトハ是ハ經濟上大問題デゴザイマス、是モ矢張り先程申シマスル所ノ最低限ニ付テモ程度ヲ定メズ、實際デ以テ調和シタイト云フコトヲ申上ゲタト同ジ理由デ其最大限ノ全部ト云フコトニ付キマシテハ認可スル場合ニ實際調和ヲ計ッテ行クト云フコトガ出來ルコトカト思フノデゴザイマスルカラシテ、其規則ノ上デハ全部ヲ爲シ得ルコトニハ書イテゴザイマスケレドモ、實際上ノ調和ニ讓ッテ行キタイ、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレハ詰リ華族ノ財産ト云フモノ、實際ヲ顧ミテ其實際ニ照シテ宮内大臣ニ認可ヲ請ハレテ來タ時ニ調和ヲシタイ、斯ウ云フ考デアリマス、之ヲ要スルニ根本義ニ關スル所ノ唯今ノ御質問ハ實ニ重大ナル問題デゴザイマス、去リナガラ政府デ考ヘマスル所デハ要スルニ此現在ノ華族世襲財産法制定當時ノ趣意根本ニ基イテ、ソレヲ動かサズニ事情ニ適應セヌ分デケラ改正シマシテ、サウシテ此華族世襲財産法ガ出來テモ實際ニ於テ世襲財産ヲ設定スル人ガ少イヤウナ傾キモアリマス、サウ云フ考デ寧ロ勸メルヤウニ致シタイト云フデアリマス、今日ハ全部世襲財産ニスルト云フ憂ノ方ハ寧ロナイノデアリマス、是ハ成ルベク獎勵スルコトガ寧ロ時勢ニ適應シテ居ルコトニナッテ居リマスノデアリマス、要スルニ現行法ノ根本主義ヲ變ヘズ時勢ニ適應セヌ所デケラ改メタイ、已ムヲ得ザル部分デケラ改メタイ、斯ウ云フコトデアリマス、是デケ御答イタシマス

○富井政章君 私ノ質問ニ付キマシテ此上繰返シテ意見ヲ述ベマスノハ甚ダ恐縮デアリマスルカラ、暫クノ間差控ヘマスガ、唯今ノ最後ノ點ニ關スル御答辯ノ趣意ガ能ク分リマセナンダカラ、其點デケ今一ツ伺ッテ置キタイ唯今政府委員ノ述ベラレマス所ニ依レバ、成程財産ノ全部ト雖モ之ヲ世襲財産トナスコトヲ得ルコトニ表面上ハナッテ居ル、併ナガラ實際ハ宮内大臣ニ於テ不都合ノナイヤウニウマク調節ヲ計ッテ行クノデアル、斯ウ云フ御説明デアリヤウニ思ヒマスルガ、サウ云フコトハ宮内大臣ニ於テ出來ルノデアリマスカ、アナタハ是デケラ世襲財産トシタイト云フ御申出デアルガ、ソレハ多過ギル、多過ギルカラ是デケニ減シタラ宜カラウト云フヤウナコトハ言ヘルト云フ趣意デアリマスカ、サウ云フ立法ノ趣意デアリマスカ

○政府委員(高橋作衛君) 私ガ申上ゲマシタノハ實ハ宮内大臣ニサウ云フ權ガアルト

云フ積リテ申シタノデアリマセヌ、認可ヲ請ウテ法律ニ基イテ全部設定スルコトヲ得トアル以上ハ之ヲ非認スルコトハ出來マセヌデアリマス、ソコガ先程申シマシタ實際上ノ調和ヲシテ行クト云フ意味デアリマス、法律上出來ルト云フ積リデアハゴザイマセヌ、詰リ實際上調節ガ出來ルト云フコトニ御答シタノデアリマス

○男爵田健治郎君 今富井博士ノ御尋ノ第三ニ對スル御答ニ付テチヨット便宜ノ爲ニ此所ニ御尋シテ置キタイノデアリマスガ、此全部ニシロ、又ハ全部デナクテモ餘リ多ク世襲財産ニシタガ爲ニ非常ニ難局ヲ生ズルト云フコトハ既ニ實際ガアル趣ニモ私共ハ承ッテ居リマスルガ、其場合ニ於テ如何ニスルカト云フ即チ宮内大臣ガ事實ニ於テ調和ヲ取ルヤウニ努ムル積リデアルト云フヤウニ仰シヤッタ、其事實ヲ私ハ少シ確メテ置キタイト思フ、ソレハ此第六條ニモ「前條ノ認可ノ申請アリタルトキハ宮内大臣ハ目錄ニ記載シタル財産ヲ世襲財産トナスノ當否ヲ調査スヘシ、前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ宮内大臣ハ目錄以外ノ財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得」ト云フコトノ書イデアルノハ今政府委員ノ御答辯ノ趣旨ヲ貫ク爲ノ手段デアッテ、殊ニ第二項ナドハ世襲財産以外ノ財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ云フヤウナコトハ、想フニ此裏ニサウ云フ途ガ開ケタルト云フコトノ趣旨デ出來タモノデアラウト私ハ解釋シテ居ルノデアリマスガ、其事實ハ如何ニナサル、是ハ實際問題ニ這入ルト、ナカノ容易ナラヌ困難ナコトデアラウト思フノデアリマス、云フモノハ假ニ此取捨或ハ設定シ或ハ増加シ或ハ減少スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、何レサウ云フ時ニ困難ノ起ルト云フコトハ債務ノ多ク生ジタ時ニ起ルコトデアアル思ヒマスガ、其債務ノ多ク生ジタ時ニ債權者ハ成ルベク解除サレ減少サレルコトヲ主張スルニ相違ナイ、獨リ債務者ガ主張スルノミナラズ、此世ノ中能クアルコトデアリマスルガ、手形ニ裏書ヲシタカ、若クハ保證ニ立ッタト云フヤウナコトノ爲ニ親屬ナリ若クハ友人ナドガ同ジ義務ヲ帶ビテ居ルト云フ場合ニ當ッテ、其債務者タル華族ハ債權者ニ對シテ世襲財産ノ保證ガアリマスルガ故ニ、辨償ノ義務ハ盡サナイデモ宜イ、即チ世襲財産ニ及ボスコトハナイト云フヤウナ時ニハ是ガ親屬若クハ友人ノ保證ニ立ッタトカ裏書ヲシタカ云フ人ニ及ブノデアリマス、サウ云フ時ニナルト必ズ世襲財産ヲ成ルタケ解除シ、サウシテ保證ニ立ッタ人ノ義務ヲ輕クシタイト云フコトハ債權者ガ言フノミナラズ、サウ云フ人マデガ主張スルコト云フコトニナル、サウスルト宮内大臣ハ假ニ世襲財産ノ當主タル華族ノ世襲財産ヲ保護シヤウト云フヤウナ片一方ト、又成ルベク之ヲ解除シテ貫ッテナリ又減少シテ義務ヲ輕クシテ貫ッテ云フ要求ト間ニ板挾ミニナッテ餘ホド是ハ面倒ナ事實ガ起ルデアラウト思フノデアリマスガ、其時ニ當ッテ宮内大臣ハ如何ニシテ之ヲ判決サルカ、唯言フガ儘ト云ヘバソレデモ濟ムヤウナモノデアリマスルケレドモ、雙方カラサウ云フ要求ガ段々事實ニ於テ起ル時ニナルト宮内大臣ハ之ヲ裁クニ餘ホド困難ナ地位ニ立タナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレニハ或ハ富井博士ノ言ハレタ諮詢機關ト云フヤウナコトヲチヨット仰シヤッタヤウニ思ヒマスガ、サウ云フヤウナモノデアアルノデアリマセウカ、若クハ拵ヘテ……サウ云フ面倒ナ雙方ノ要求ガ……殆ド事實ニ於テハ爭訟ノ起ッタ場合ニ於テ宮内大臣ハ是ガ公平ナル判斷ヲ與ヘル爲ニ相當諮詢機關デモ置イテ之ニ諮ッテ此裁定ヲスル、取捨ヲスルト云フコトノ手段デモ御設ケニナルノデアリマセウカ、其邊ノ御見込ガアルナレバ今日ナリ若クハ將來ナリノ事實ニ就テ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(高橋作衛君) 先程、實際上調節ヲ圖ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、實ハ今日ハ未ダ出來テ居リマセヌケレドモ、華族世襲財產法ノ施行規則ト云フモノモ作ラネバナラヌコトニナツテ居リマスノデ、其施行規則ヲ以テ世襲財產ト爲スコトヲ得ベキ所ノ家寶ハ由緒ノアルモノニ限ル、サウ云フモノニ限ル、即チ其家ニアルモノ全體デナイ、其家ノ特別ナルモノ、又世襲財產ト爲スベキモノハ通常ノ必要費ヲ支辨スルニ足ルダケノ收入收益ヲ生ズルモノデアルト云フヤウナ風ナ工合ニ施行規則ヲ作ツテ、ソレヲ標準トシテ實際ノ調節ヲ圖ルト云フ考ハアルノデゴザイマス、而シテ田男爵ノ御尋ノ調査機關ヲ設ケルト云フコトハ或ハ必要カモ存ジマセヌガ、唯今其腹案ハゴザイマセヌ、是ハサウ云フ機關ガナケレバ宮内大臣トシテヤリニクイト云フ時ニハ之ヲ作ルト云フコトニナルカ知レマセヌガ、唯今ノ所デハマダ腹案ガアリマセヌ

○男爵田健治郎君 今ノ點ヲモウ少シ御尋ネシタウゴザイマスガ、此施行規則ノ御話デアリマスガ、今ココニ御配付ニナツタノハ現在ノ施行規則ガ配付ニナツテ、チヨット拜見スルノデアリマスガ、此現在ノ施行規則デハ餘リニ私が今御尋スルヤウナ點ニ付テノ規則ガアリサウニモ見エテ居リマセヌ、シテ見ルト云フト、此新法ニ改正ニナツタ以上ハ施行規則ガ自然ニ改マルノデゴザイマセウガ、其施行規則ノ草案デモ既ニ御作リニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレガアレバ拜見シタイノデアリマス、又今日直グニ御手許ニナイト云フコトナラバ今日ニ限ツタ譯デモゴザイマセヌ、ソレヲ拜見スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイ

○政府委員(高橋作衛君) 殆ド初稿トモ申スベキモノハ出來テ居リマスノデ、ソレデ差支ナケレバ今日ハ一部シカ持ッテ居リマセヌガ差支ナイト思ヒマス

○岡野敬次郎君 今本案ニ付テノ大體ノ質問ヲスベキ時機ト存ジマスルガ、前議會ニ本案ノ提出セラレマシタ際ニ、當時華族世襲財產制度ノ趣意ト云フモノガ果シテ達セラルルヤ否ヤト云フヤウナ比較的大ナル問題ニ付テ私ノ當時疑ッテ居ッタ所ノ問題ヲ述ベテ政府ノ參考ニ供シタノデアリマス、其問題ハ矢張り此度ノ案付テモ私ハ未ダ十分ニ解決セラレテ居ラスカノ如ク本案ヲ見ルノデアリマス、固ヨリ此度ノ案ハ前回ノ案ニ比較シマシテハ餘ホド詳密ニナツタノデアリマス、詳密ニナツタダケツレバ非常ニムツカシイ法律案デアリマシテ、私ハ一回二回之ヲ通讀イタシテ見マシタケレドモ、色々諸種ノ法律ニ關係ヲ有ッテ居ルガ爲ニ、未ダ十分ニ其趣意ヲ了解スルコトガ出來ナイノデアリマス、デ或ハ私ノ研究ガ足ラヌノデ、ソレガ爲ニ尙ホ疑ヲ起スカモ知レマセヌガ、併シ私ノ御尋シテ見ヤウト云フノハ、寧ロ内容ニ付テノ質問デアリマスケレドモ、併ナガラ其問題ガ各箇條ニ付テノ問題ト云フヨリハ寧ロ世襲財產ノ制度其モノニ付テノ疑問ナリト稱シテモ差支ナイト思フノデアリマスカラ、此際ニ二三私ハ御尋シテ置キタイト思フノデアリマス、第一ニ御尋ヲ致シタイノハ此世襲財產ヲ設置シ、或ハ増加スル當時ニ於テ何カ其華族ノ財產ヲ調査スルニ付テ特ニ其機關ヲ設ケテアル積リデアアルカドウカト云フコトハ、先刻田男爵ヨリ御尋ニナツタ點デアリマシテ、私モソレヲ一ツ御尋シタイト思ッテ居ッタノデアリマス、ソレニ對シテ政府委員ハ當時調査機關ヲ設ケル考ハナイト云フ、今ノ所定テ居ルノデナイ、或ハ必要ガアルカモ知レヌ、斯ウ云フコトデアリマシタガ、私ハ尙ホ其點ヲ確カメタイノデアリマス、調査機關ヲ設ケルトシテモ其調査機關タルヤ政府ヲ設ケル所ノ調査機關デアアル

マイト思ヒマス、宮内大臣ノ下ニ調査機關ヲ設ケルヨリ致方ガナイ、ソレデ果シテ宮内大臣ニ於テモ今御尋スル即チ調査機關ヲ設ケル考ガナイト云フコトハ先刻政府委員ノ答辯セラレタル通りデアリマス、其調査機關ノ設置ニ付テ政府ハ宮内省ト何カ打合せデモセラレタ上ノ話デアアルカドウカト云フコトヲ私ハ第一ニ御尋シタイノデアリマス、調査機關ヲ設ケルノハ、何レ設ケルトスレバ蓋シ宮内大臣ノ下ニ設ケルノデ、政府ノ機關トシテ設ケルモノデアアルマイト思ヒマスノデ、其點ヲ御尋シタイノデアアル、ソレカラ第二ニ御尋シタイノハ、此世襲財產ト爲サントスル所ノ財產ニ付テ既ニ特別ノ擔保權ノ目的トナツテ居ル所ノモノハ、或ハ抵當權ノ目的トナツテ居リ、或ハ質權ノ目的トナツテ居ル、此種ノ財產ト云フモノハ現行ノ規則ノ下ニ於テハ世襲財產ト爲スコトヲ得ズト云フコトニナツテ居ルノデアアル、デ世襲財產ト爲スコトハイカヌト云フコトニナツテ居ルガ、之ヲ世襲財產トシタ場合ニ於テ其世襲財產タルノ效力ヲ有ツカドウカト云フコトハ、解釋上一ツノ疑問デアアルト云フヤウニ承ツテ居リマスケレドモ、私ハ疑問トシテ居ラスノデアリマス、ソレハ世襲財產トナツタ爲ニ既ニ或ル所ノ擔保權ガ效力ヲ失ッテ仕舞フト云フ道理ハ私ハドウシテモナイト思フノデアリマスカラ、寧ロ此抵當權或ハ質權ノ、特別ノ擔保權ノ目的トナツテ居ル財產ハ世襲財產ト爲スコトヲ得ズト解スルノガ私ハ正シイト思フノデアリマス、然ルニ此度ノ案ニ依リマススト云フト、是亦世襲財產ト爲スコトヲ得ルコトニナツテ居ル、デ私ハ此世襲財產法ノ世襲財產ト爲サントスル財產ハ抵當權デアルトカ、或ハ質權ノ目的トナツテ居ルモノハ、寧ロ世襲財產ニシナイ方ガ宜カラウ、官ニ之ヲ世襲財產ト爲サントスルハ當初バカリデナイ、將來ニ於テ其擔保權ヤ或ハ抵當權質權ヲ執行シタ後ノ始末ニ付テモ寧ロサウ云フ財產ハ世襲財產ニシナイ方ガ總テ私ハ圓滿ニ行クデアラウト思フノデアアル、サウ云フモノマデモ何モ世襲財產ニスル必要ハ少シモナイト斯ウ私ハ思ッテ居ルノデアリマス、其細カイコトハ暫ク措キマシテ、何ガ故ニ本案ニ於テハサウ云フ特別ノ擔保權ノ目的タル財產ハ尙ホ世襲財產ト爲スト云フ途ヲ開イタノデアアルカ、其理由ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ或ハ其點ニ付テハ宮内大臣ガ調査スルカラ、サウ云フヤウナ財產ナラバ世襲財產ニシナイカモ知レナイ、斯ウ仰ッシャルカ知レマセヌ、仰ッシャルカ知レマセヌガ、ソレナラバ最初カラシナイ方ガ遙ニ宜イト思ヒマス、成ルベク世襲財產ト云フモノハ純粹ノ財產ニシタ方ガ私ハ宜カラウ、世襲財產ニ編入シタ後ニ色々面倒ガ起ラヌヤウニシタ方ガ宜カラウト私ハ思ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ故ニ御尋シタイノデアリマス、ソレカラ第三ニ御尋シタイノハ、此世襲財產ニ編入セラレタル所ノ財產ガ形ノ變ツタ場合ニ於テ……其形ガ多クノ場合ニ於テハ金錢デアリマス、其金錢デアッタ場合ニ世襲財產ノ效力ヲ其金錢ニ有タシムルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ問題デアリマス、若シ金錢ナルガ故ニ世襲財產ノ效力ヲ有タシムル方法ガナイト云フコトヲ本案ガ認メテ居ルナラバ、ソレハ果シテ世襲財產ト云フモノヲ設置シタ目的ヲ達スルニ於テ十分ナルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、ソレハ或ハ世襲財產トナツテ居ル所ノモノハ、其土地ガ土地收用法ノ規定ニ依ッテ收用セラレタ、補償金額ト云フモノニ變ツタ、此場合ニハ申スマデモナク、詰リ土地收用法ノ規定スル所ニ依レバ、財產、不動産ハ補償金額ト云フモノト交換ノニナルノデアリマス、一方金ヲ拂ハナケレバ土地ヲ請取ルコトハ實際出來ナイ譯デアアル、其金ニナツタ場合ニ其金ヲ請取ルコトガ債權ノ場合ナラバ、是ハ何カノ手續ヲ以テ

世襲財産ト爲スコトが出来マセウ、併シソレニ付テモ民法ノ債權ト雖モ特別ノ手續ヲセ
ネハナラヌコトニナツテ居リマス、實際金錢ニナツテ仕舞タ場合ニハ私ハ甲ノ此財産、此
財産ハ世襲財産ナリシ財産ノ代リノモノアルト云フコトハ謂ハ同一物ノ代リノモノデ
アルト云フコトガ私ハ證明が出来ヌ、甲ノ財産ハ即チ乙ノ財産ノ代リアルノダト云フ證
明ハドウシテ出来ルカ、何ガ此世襲財産ノ代リノ財産ナラハ何處マデモ
ドウ云フ形ニナラウトモ債權デアラウトモ實際ニ金錢ニナツテマッテモ尙ホ矢張
リ世襲財産ノ效力ヲ持ツヤウニシテ置クト云フコトガナケレバダメ、一方カラ
言ヘバ世襲財産ノ本當ノ目的ガ達セラレナイ、例ヘバ株券ニ付テ見テモ株券
ガ償却セラレタト云フ場合モアリマセウ、債券ノ場合デアレバ償還セラレル場合ガ
アリマセウ、國債ダツテモ償還セラレル場合ガアリマス、ソレガ債權デアリマスレバ何
カ方法ガ付キマセウガ、金錢デアッタ場合ニハ如何ニ世襲財産ノ效力ヲ持タシムルコトガ
出来ルカ、若シ持タシムルコトが出来ナイナラバ償還ニナルト云フコトヲ詰リソレダケ世襲財
産ガ滅ルコトニナル譯デアル、若シ黙ッテ居テ世襲財産ノ效力ヲ持ツト云フコトニナツタ
ラバ他ノ債權者ハ頗ル迷惑ヲスル、ドウシテ此金ハ當テ世襲財産ナリシ株券或ハ債券ノ
代リデアルト云フコトガ言ヘルデアラウカ、ソレドウ云フヤウニ其處ノ調和ヲセラルルノデ
アルカト云フコトガ私ハ能ク分ラヌ、十九條ト二十條ヲ讀シテ見テモ尙ホ分ラヌデアリ
マス、ドウゾ十九條ト二十條ヲ參考シテ私ハ御答ヲ願ヒタイデアリマス、十九條、二十
條ヲ氣附カズニ私ハ御尋ネスルノデアリマセウ、之ヲ能ク承知ノ上テ私ハ御尋ネスルノ
デアリマスカラ、其積リテ御答辯ヲ請ヒタイデアリマス、ソレカラ其次ハ……此前三モ私
ハ申シタコトデアリマスガ、世襲財産ノ既ニ設定セラレテ居ル所ノ華族ニ對シテ或ハ金ヲ
貸スコトカ其他契約ヲスルコトカ云フヤウナ場合ニ於テハ、ソレガ爲ニ債權者トナル所ノ者ハ
ソレハ豫メ世襲財産ガアルノデ、此世襲財産ニハ手ヲ附ケルコトが出来ナイモノデアルト
云フコトヲ承知シテ權利ヲ得ルノデアリマスカラ、此時ハ其世襲財産ニ對シテ已ノ權利ヲ
主張スルコトが出来ナイデモ是ハ私ハ已マフ得ヌコトデアル、ソレハ當然ノコトデアルト思
フ、併ナガラ若シモ華族ニ何カ不法行為ガアルトカ其他過失ニ依ツテ他人ニ損害ヲ與ヘ
タ場合ニ於テ其損害ヲ被ツタル他人ハ少シモ世襲財産ノアル華族ガカラトカ、世襲財産
ノナイ華族ガカラト云フテモ何モ區別ハナイデアリマス、此場合ニハ此華族ニ對シテ損
害賠償ヲ請求スル時ニ於テ矢張り世襲財産ハ何處マデモ除外サレテシマフト云フコトニ
ナルデアリマス、ソレガ果シテ正當デアルカドウカ、一方ニハ國稅デアリマスカ、或ハ地
方稅デアルトカ、其稅ハ其財産ニ課スル稅デアルト否ト問ハズ、苟モ國稅タリ地方稅タ
リ公課タル效力ヲ有ツテ居ルモノハ世襲財産ニ對シテハ何所マデモ之ヲ執行スルコトが出来
來ルノデ、罰金料ノ如キモノト雖モ尙ホ之ヲ徵收スルコトが出来來ルノデ、サウシテ私
人タル者ハ華族ノ過失ニ依ツテ損害ヲ蒙ツタル場合ニ於テ其賠償ヲ請求スルニ當
テ何カ故ニ世襲財産ニ少シモ手ヲ附ケルコトが出来ヌト云フコトニスルノデアルカ、不
權衡デナイカト云フコトヲ私ハ疑フデアリマス、此問題ハ矢張り此前三モ私ハ述
ベタヤウニ記憶シテ居リマスガ、何ガ故ニ左程ニマデ私人ノ權利ヲ制限セネバナラヌ
ノデアルカト云フコトヲ私ハ疑フデアリマス、ソレカラ終リニモウツ御尋ネシタイノハ是
ハ破産ニ關スル問題デゴザイマス、華族ニ對シテモ無論破産ヲ宣告スルト云フ必要ノ起

ルコトハ論ハナイノデ、ソレデ世襲財産ガナケレバ一向問題ハ起ラナイ、世襲財産ノアル場
合ニ起ルノデ、ソレデムツカシイコトハ私ハ申シマセウ、極ク簡單ナ例ヲ以テ申スノデスガ、
茲ニ華族ガ世襲財産ヲ十萬圓持ッテ居ル、其以外ノ財産ヲ五萬圓持ッテ居ル、合セテ
十五萬圓ノ財産デアル、此場合ハ其華族ガ何等カノ原因ニ依ツテ八萬圓ノ債務ヲ負
擔シタト假定スル、サウスルト其八萬圓ノ債權者ハ華族ノ財産中ノ五萬圓ニ對シテ權
利ヲ行フヨリ外ニハ道ハナイ、世襲財産ノ十萬圓ニハ無論手ハ附ケラレナイ、是ハ疑ヒナ
イノデス、トコロガ其八萬圓ノ債權者ト云フモノガ華族ニ對シテ期限ガ來タ等ノ理由ニ
依ツテ已ノ權利ヲ行ハムトスルノニ財産ハ足ラナイ、期限ノ來ルモノノ負債モ之ヲ何レモ
辨償スルコトハ出来ヌト、サウ云フ場合ニハ其華族ニ向ッテ必ズ破産ノ宣告ヲ申請スル
ニ相違ナイと思フ、此場合ニハ手ヲ附ケラレナイ、十萬圓ノ財産ヲ加ヘバ十五萬圓ノ
財産ガアルカラ破産ノ宣告ハスルコトハ出来ナイト云フ理窟ハナイ、手ヲ附ケラレナイ財産
ヲ除イテ跡ノ財産ノ狀態ニ依ツテ破産ノ宣告ヲスルヨリ致方ハナイと思フ、是ハドウ立法
シテ見タ所ガ私ハ必ズサウナルト思フデアリマス、ソコデ此場合ニ華族トシテ取ルベキ道ハ
何デアルカ、ドウモ八萬圓ノ借金ガアッテ五萬圓ノ財産シカナイ、將ニ破産ヲ宣告セラレ
ムトシツツアル、寧ロ世襲財産ノ一部ヲ解イテ、サウシテ解除シテ借金ヲ拂ッダ方が宜イ、
斯ウ云フ途ヲ取ルカモ知レヌ、ソレモ一ツノ方法デアリマセウ、ソレデ幸ヒニシテ借金が片
附イタ、尙ホ其家ヲ維持スルコトが出来レバ誠ニ結構デアリマス、イッモくサウ云フ方
法ヲ執ルナラバ何モ世襲財産ノ效果ト云フモノハ私ハナイと思フ、借金がアッテモ尙ホ其
借金ノ爲ニ世襲財産ハ取ラレナイト云フ所ニ保護ノ趣意ガアルノデアリマス、イッモ世襲
財産ノ一部ヲ解除シテ借金ヲ據處ナク拂フノダト云フ所ニ立至ルナラバは何モ世襲
財産ノ目的ハ私ハ達セラレナイと思フ、ソコデソレナラバドウスルカ、若シ華族ガ是ハ世襲
財産ハ手ハ附ケラレヌノダカラ知ラヌ顔ヲシテ居レト、解除ノ途ヲ取ラズシテ知ラヌ顔ヲシ
テ居ル、知ラヌ顔ヲシテ居ル時ニハドウナルカト云ヘバ破産ヲ宣告セラルト云フコトハ明
カデアル、其破産ヲ宣告セラレタ曉ニ於テドウ云フコトニナリマスカ、場合ニ依ツテハ華族
令ノ定ムル所ニ依ツテ華族ノ禮遇ヲ停止セラルルコトハ是ハ明瞭デアル、更ニ情狀重キ時
ハ舊マデモ失フコトニナル、舊ヲ失フタ場合ニハ世襲財産ガ無クナツテシマツテ、詰リ世襲財
産ノ效力ガナイノダカラ全部ガ債權者ノ攻撃ト云フモノニナル、サウ云フヤウナ場合ヲ考
ヘテ見ルト云フトドウモ華族ノ方デハ寧ロ世襲財産ナリ華族ノ禮遇ヲ停止セラルル位ナ
ラ寧ソ一部ノ解除ヲシテ借金ヲ拂ッダ方が宜イト云フ考ヲ起スカモ知レヌ、況ヤ進ンデ舊
マデモ失フヤウナ場合ニハ、舊ヲ失ヒ世襲財産ノ效力ヲ失フナラ世襲財産ノ方ヲ解イテ借
金ヲ拂ッダ方がマデモ宜カラウ、斯ウ云フヤウナコトニナリハセヌカ、斯ウ云フヤウナコトニ
ナルト云フト折角世襲財産ト云フモノヲ設ケテ見テモ殆ド保護ノ必要ノ緊急ナル場
合ニ於テハ實際其保護ノ目的ガ達セラレナイト云フコトニナリハセヌカ、斯ウ云フコト
ヲ私ハ心配スルノデアリマス、或ハ實際ニ行ツタラ其戸主ガ隱居シテ仕舞フト云フヤ
ウナコトモ隨分アルヤウデアリマスガ、併シ隱居シタカラソレデ宜イト云フ譯ハ私ハナカ
ラウト思フデアリマス、其邊ハドウカ云フヤウニシテ華族ノ世襲財産ノ趣旨ヲ貫イテ
行ケルコトニナルノデアリマスカ、矢張り私ハ前回同シヤウニ其疑問ヲ有ツテ居ル、是
等ハ小サイ問題ノヤウデアリマスガ實ハ到底サウ云フヤウナ場合ニハ保護が出来ヌノダ

ト云フコトニナレバツレハ世襲財產制度ト云フモノヲ根本カラ疑ハザルヲ得ナイコトニナルノデアリマス、私ハ小問題トハ思ハナイノ大體ノ質問ト云フ形ニ於テ御尋ヲシテ不適當デアリマイト思ヒマス、以上五點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(高橋作衛君) 岡野博士ノ第一番ノ御尋ニハ調査機關ニ關スルコト、思ヒマス、此御尋ノ宮内大臣ノ監督ノ下ニ調査機關ヲ置クト云フ其調査機關ニ付テハ先程申上ケタシタ如ク今日ノ所何等研究イタシテ居リマセヌ、ツレハ宮内省ト交渉ノ結果トシテ申上ケルノデアリマス、但先程御約束申上ケタシタ所ノ華族世襲財產法ノ施行規則ノ案ノ中ニハ未定稿ヲハ勿論ゴザイマスガ、當該官吏ヲシテ其財產ニ付テ調査ヲ爲サシメルト云フコトニシテ、マア案ハ出來タノデゴザイマス、御尋ノ如ク宮内大臣ノ下ニ調査機關ヲ置クト云フコトハ是ハ唯今ノ所デアリマスレバ之ヲ設ケルト云フコトニナルカハ存ジマセヌガ、唯今ノ所デアリマスレバ宮内省ト打合セテノ案ガ出來テ居リマセヌ、ツレカラ第二ノ華族世襲財產法ノ第六條ニ依リマスルト云フト「負債償却ノ義務アル財產ヲ世襲財產及ヒ附屬物ト爲スコトヲ得」ト云フコトガアリマス、改正法ハ之ヲ世襲財產ノ目的物ト爲スコトガ出來ル、世襲財產ト爲スコトガ出來ルト云フヤウナ風ニ仰シヤツタヤウニ記憶シテ居リマス、現行法モ矢張り質權、抵當權、賃借權ノ目的物ニナテ居ル所ノモノハ世襲財產ト爲スコトヲ得ナイト云フ立テ前テ來テ居ルノデゴザイマス、ツレハ八條、十二條、二十三條ニ於テ其事ヲ規定シテ居リマス次第デゴザイマス、改正案モ矢張り舊法ト同ジコトデアルト云フコトヲ申上ケテ置キマス、ツレカラ第三ノ世襲財產ガ償還サレル、例ヘバ公債ガ償還サレルト云フヤウナ其期間ニ於テ是ガ金トナル、金錢トナツタ以上ハ他ノ金錢ト區別ヲ爲スコトハ出來ナイ結果、結局之ヲ世襲財產トシテ保護スルコトハ出來ナイデアリマス、如何ニシテ之ヲ世襲財產ト同ジヤウニシテ保護スルカト斯ウ云フ誠ニ困難ナル御質問デゴザイマス、御答辯ニ困難スル御質問デゴザイマス、去リナガラ此規定ニゴザイマス如ク矢張り世襲財產トシテ其モノガ……詰リ自己ノ「ポッケット」ニ這入ツテ來ヌトセン以上ニハ矢張り世襲財產トシテ保護シテ行カウト云フ趣旨ヲ規定シテ居リマス、而シテ其償還サレル所ノ金ガ他ノ金ト區別シ得ルヤ否ヤト云フ即チ自己ノ「ポッケット」ニ這入ツタカ這入ラヌカト云フ區別ハ是ハ實際上ノ問題ニナルコトデゴザイマス、免ニ角是ハ償還セラルレバ其償還ノ高ト云フコトモ分ルコトデアラウト思ヒマス、併シツレ以上トウシテツレバ區別シ得ルカ否カト云フコトニ付テハ實ハ明確ナル所ノ案アレバ結構デアリマスケレドモ、矢張り考ヘテモ其案ハ立テニクイノデゴザイマス、先ツ普通ノ觀念デ差引シテ殘タモノガ自己ノ金ト證明サレバ免ニ角公用徵收ニ依テ收容サレテ支拂ツテ殘タモノトカ或ハツレ等ノ材料ニ依テ證明スルヨリ外仕方ガナイノデゴザイマス、證明サレタモノハ矢張り世襲財產ト同一ニスルト云フコトデゴザイマス、實行困難ト云フコトハ是ハ實ニ已ムヲ得ナイ次第デゴザイマス、其事ヲ考ヘマシタ以上矢張り十九條、二十條ト云フモノヲ草案イタシタ次第デゴザイマス、ツレカラ第四ノ御質問デゴザイマスガ、不行為等ノ爲ニ其場合ニ於テ世襲財產ニ手ヲ著ケヌコトニシテ置イテハ一方滯納處分トカ何トカ云フ公ノコトニ比較シテ見テ不公平デアリナカト云フ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ公ノコトト矢張り區別シタノデゴザイマシテ、詰

ル所第十五條ノ一項ニゴザイマス詰リ「民事上ノ強制執行ノ目的ヲ以テ」ト云フヤウナ私法上ノ關係ノコトト公ノコトト區別シテ公ノ方ハ已ムヲ得ヌ、其民事上ノ關係ノ方ノ場合ニ於テハ矢張り世襲財產ニシテ手ヲ著ケマセヌト云フ立テ前テ世襲財產ヲ保護スル、公ノ方ハ已ムヲ得ヌト斯ウ云フ譯デアリマス、ツレカラ第五ノ問題ノ破産ノ關係デゴザイマスガ、是ハ詰リ所誠ニ已ムヲ得ザル次第デ、已ムヲ得ザル次第アル場合ニ於テハ此第十七條ニ掲ゲテ居リマス所ノ「已ムコトヲ得サル事由アル場合」ト云フコトノ一ツトシテ此事ヲ考ヘマシテ、成ルベクハ斯ル場合ニ世襲財產ノ方ノ保護ヲ關クコトノナイヤウニ……併シ已ムコトヲ得ザル一ツノ場合トシテ、唯今御尋ニナツタ此問題ヲ解決シテ、普通直世襲財產ヲ解除スルコトデナク、華族ノ禮遇ヲ停止セララル、ト云フヤウナ據ロナイ場合ヲ見積リテ第十七條解決シタイト云フ考デアテ居ルノデゴザイマス

○岡野敬次郎君 折角御答辯ヲ得マシタガ、マダ十分了解イタシマセヌカラ又繰返シテ五問ニ付テ簡單ニ御尋イタシマス、私ノ第一ニ調査機關ト申シマシタノハ例ヘバ現在華族ノ處分ニ付キマシテハ、華族ガ寄ツテ決議スルカ相談スルカ云フヤウナコトガ現在アルノデアリマス、例ヘバ懲戒ナドニ付キマシテ……ツレハ華族仲間ノ人ヲ集メテ相談デモシテ極メルト云フ機關ヲ設ケルノデアリカト云フ意味デ御尋シタノデアリマス、官吏ト云フ意味デ御尋スルノデアリマセヌ、ツレサウ云フヤウナモノヲ今ノ所設ケナイト云フコトデアリマスレバ御答辯ハ要リマセヌ、敢テ官吏ト云フ意味デ御尋シタノデアリマセヌ、第二ノ問ノ擔保ノ目的ニナツテ居ルモノト云フコトニ付テハ、十八條、二十一條、二十三條等ヲ引イテ御答辯ニナリマシタガ、私ノハ大變違フ、私ノハ斯ウ云フ意味デ御尋シタノデアリマス、質權トカ抵當權トカ云フモノノ、目的ニナツテ居ル財產ガ、誤ツテ世襲財產トセラレタナラバ、ツレハ世襲財產ノ效力ガナイト何故規定セラレヌカト云フコトヲ御尋シタ、私ガ先刻申シマシタ如ク、現在ニ於テモサウ解釋スルノガ正シイト思ッテ居リマス、ツレハ斯ノ如ク改メラレタノハドウ云フ譯ダト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、二十二條ヲ引イテ御答辯下スツデモ私ノ問ハムト欲スル意味ニハ達セヌノデアリマス、ツレカラ其次ニハ償還ノ場合デアリマスガ、若シ先刻政府委員ノ御答辯ノヤウナ意味デアルト、何カ自分ノ「ポッケット」ニ入レタトカ自分ノ財產ト混同シタトカ云フ誠ニ通俗ノ所デアリマス、然ラバ私ハ尙ホ進シテ御尋シタイノハ、民法ノ先取特權質權ノ場合ト何故區別ラセヌカト、斯ウ云ツテ御尋シタガ早カラウト思ヒマス、民法デハ債權トシテハ出來ルガ金錢トシテハ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、然ルニ世襲財產トシテハ實際金錢ニナツデモ債權ノ代リニ權利ヲ行フト云フコトニナツテハ是ハ法律上非常ニムツカシイト思ッテ居ルカラ御尋スル、寧ロ民法ノ先取特權ト……何條デアリマシタカ、條文ハ覺エマセヌガ……

(富井政章君「三百四條」ト呼ブ)

三百四條ノ規定ト違ツタ趣意ヲ何故設ケラレタカト斯ウ云ツテ御尋シタガ早イ、其次ハ損害賠償ノコトデアリマス、ツレハ政府委員ノ御答ノ通り、公ト私ト區別シタト云フノハ分ツテ居リマスガ、何故區別シタカト云フコトヲ御尋シタ、サウ云フ趣意デ書イタノダト云フコトハ承知ノ上御尋シタノデアリマス、或華族ニ對シテ、少額ノ地方稅トカ云フヤウナモノデアラナラバ世襲財產ヲ使ツテモ宜シイ、然ルニ一個人ガ損害ヲ被ツテ其代償ヲ請求スルヤウナ段ニナツタナラバ手ヲ著ケルコトハ出來ナイ、國家ナリ團體ナリニ少額ノ課稅

ヲ取ラセリヨモ、私人ヲシテ其權利ヲ行ハセタ方カ權衡ヲ得タモト思ヒマス、ナゼ公ト私トテ區別スルカサウ云フ立法ノ趣旨ヲ御尋スルノデアリマス、法律ガ出來テ居ルヤ否ヤヲ御尋スルノデハナ、其事ヲ御答ヲ願ヒマス、私ハ不權衡ダト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ其疑ヲ解キタイト思ヒマス、ソレカラ破産ノコトニ付テ誠ニ意外ナ御答デアリマスガ、私ハ政府委員ノ御答ヨリハ其レ以上保護シタイト思ヒマス、制度ヲ設クル以上ハ……然ルニ何時モ十七條ヲ引張ッテ來テ、已ムヲ得ザル場合ニハ解除スルノコト云フコトナラバ、殆ド世襲財産ノ目的ハ達セラレヌ、何故ナレバ已ムヲ得ヌカラ解除シテ借金ニ返スト云フコトアレバ、華族ノ負擔シタル債務ノ爲ニ其攻撃ヲ避ケテ、サウシテ華族ノ家ヲ維持シ華族ノ體面ヲ保ツ上ニ於テ世襲財産ハ設ケラレト云フ以外ニ、何モ意味ハナイ、然ルニ破産デモアル場合ハ已ムコトヲ得ザルコトデアルカラ解除スルノコト云フコトデアレバ其目的ハ達セラレナイカラ御尋シマスノデ、何時モ何時モ十七條ヲ適用スルナラバ寧ソ世襲財産ノ制度ハ廢止シタガ宜シ、サウ云フ場合ニコソ世襲財産ノ必要ガアル、ソレ故ニ如何ニシテ保護スルノデアルカト云フ御尋ヲシタノデアリマスガ、十七條ノ御答デハ御尋ヲシタ趣意ヲ達セラレヌノデアリマスカラ、尙ホ重テ御尋ヲ致シマス

○政府委員(高橋作衛君) 第二番ノ問題ニ補ッテ御答イタシマスガ、第十二條ニ於テ規定シタル所ヲ御覽下サイマスレバ……詰リ世襲財産トナッテ、其效力ヲ第三者ニ對抗スルノハ登記登錄ノ後、其前ノ原因ニ基キ御尋ノ質權抵當權其他ノ權利ヲ持ッテ居ルモノハ、判決又ハ確定日附アル證書ニ依リテノ權利ヲ主張スルコトヲ得ルト云フ意味デアリマスカラ、現行法ノ精神ト變テ居ラナイ積リデアリマス、ソレカラ第三ノ御尋ノ先取特權ノ問題ノコトハ私ハ民法ノ專門家デゴザイマセヌノヲ遺憾ト致シマス、民法ノ大家ニ對シテ私ノ説明ガ間違フトイケマセヌカラ、此方ハ司法省ノ御方ニ御譲リ致シマス、第四ノ公ト私ト何故公平ニセヌカト斯ウ云フ御質問デアリマスガ、先程申上ゲマシタ如ク、公ノ方ニ重キヲ置イタト云フ斯ウ云フ精神デアルノデアリマス、ソレヨリ以上ノ御答辯ノ理由ハ私ハ見出し得ナイ、詰リ公ノ債務ト云フモノニ付テ其方ニ重キヲ置イテ……不公平ハ已ムヲ得ナイ、其他民法上ノ關係ニ對シ不公平デモ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ積リデアリマス、ソレカラ破産ノ問題ニ付キマシテハ私ノ御答辯ガ御満足ヲ得ナイノハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、斯ノ如キ場合ハ即チ萬已ムヲ得ザル、減多ニ無イ場合デアリマス云フコトヲ御答イタシマシタガ、ソレヨリ以上ノ御答ハ私ハ破産法ニ詳シクアリマセヌカラ司法省ノ御方ニ御譲リヲ致シテ御満足ヲ得ルコトニ致シマス

○政府委員(豐島直通君) 唯今岡野博士ヨリ御尋ニナリマシタ中此案ノ第十九條ノ規定ニ付キマシテ、ナゼ民法ノ先取特權ニ關スル二百四條ノ規定ノヤウナ風ニ規定シナカッタト云フコトニ付キマシテ御答ヲ致シマス、之ニ付キマシテハ此ノ前ノ議會ニ於キマシテ御説明モ岡野博士ヨリゴザイマシタノデアリマスノデ、御議論ハ能ク承知イタシテ居リマス、唯民法ノ先取特權ノ規定ト十九條ノ規定トヲ比較シマシテ寧ロ十九條ノヤウナ規定ノ方ガ簡便デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ規定イタシマシタ、先取特權ノ方ノ規定ニ依リマスルト、拂渡シヲ受ケル前ニ差押ヘヲシナケレバナラヌト云フヤウナ規定モゴザイマスル、却ッテソレデハ事ガ面倒デゴザイマスル、總テ此世襲財産ニ關スルコトハ華族其ハノ矢張り信用ト云フモノヲ考ヘテ、其人ハ餘リ惡イコトヲスル者デハナ、斯ウ考ヘテデ

ナケレバ完全ニ行ハレナイモノト信ジマス、其華族ノ不正行爲ハ餘リナイモノデアルト云フ考カラシマシテ、他ノ財産ト混合シナイデ置イテ、他日更ニ世襲財産ニスルト云フヤウナコトモ實際ニ於テウマク行ハレルノデアル、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ、決シテ不都合ナコトハナ、信ジテ斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマス

○岡野敬次郎君 私人ノ御尋シタコトハマダ要領ヲ得マセヌケレドモ其邊ニ止メテ置キマスガ、最後ニ十九條ヲ引イテ御答辯ハドウモ私ニハ分ラヌノデス、ドウ考ヘテモ、華族ガ不正行爲ヲスルトカ、セヌトカ、ソシナコトヲ御尋シタノデハナ、華族ノ世襲財産ト云フモノノ效力ト其代ツ所ノ財産ニ對シテ一般ノ債權者ノ權利ト云フモノトノ關係ニ付テ御尋シタノデアリマス、華族ガ不正行爲ヲスルトカセヌトカサウ云フ問題デアハナ、世襲財産ノ效力ヲ有タセルコトナレバ、一般ノ債權者ハ其財産ニ對スル代リノ財産ニ對シテ權利ヲ行ハレナイコトニナル、ソレカラ甲ノ財産ノ代リニ其乙ノ財産ガ出來タト云フコトガ明瞭デアラバ、ソレハ一般ノ債權者ハ一向迷惑セヌト云フコトニナル、其甲ノ財産ノ代リニ乙ノ財産ガ出來タ、其乙ノ財産ヲ甲ノ代リノ財産トシタト云フコトガドウシテ分ルカ、分ラナイノニ世襲財産ノ效力ヲ有タセテハ一般ノ債權者ハ迷惑ヲスルコトニナル、ソレデアリマスカラ、何カ特殊ノ手續ニデモ依ッテ、例ヘバ民法三百四條ノ規定ガ宜イコトカ惡イコトカハ別デアリマスケレドモ、何カサウ云フヤウナ手續デモアッテ、是ガ故ニ一般債權者ノ權利ハ行ヘナイト云フコトナレバ宜イデヌケレドモ、サウデナカッタ餘程迷惑ヲセヌカト云フ、斯ウ云フ方カラ御尋シタ、華族ガ不正行爲ヲスルダラウトカ、信用セナイコトカソシナ問題デアハナ、此民法ノ二百四條ノ規定ハ不正行爲ヲスルトカ何トカ云フ問題デアハナ、一般ノ債權者ト先取特權者ト云フモノ、權利ヲ調和スル問題デアル、不正ヲスルトカ信用セヌトカ云フヤウナ問題デアハナ、ソレデ十九條モ矢張り同ジコトデアル、然ルニ三百四條ノ規定ト區別シタカト云フコトヲ私ハ御尋シタ

○政府委員(豐島直通君) 御尋ノ趣意ハ能ク了解シテ居リマス、唯此世襲財産ニ代ツタ財産ト云フモノハ金錢デアルガ爲ニ他ノ財産ト混同シ易イモノデアル、區別ガ出來ナイデハナ、イカト云フ御尋ニ付テハ是ハドウモ何トモ御答ハ出來マセヌノヲ洵ニ其御尋ノ通リノ次第デアルト考ヘマス、ソコガ即チ華族ニ信用ヲ置イテ居ル點デ、サウ云フコトニ付テハ此法律ノ精神デ再ビ世襲財産ニサセルノデアルト云フコトヲ遵奉シテ、決シテ區別ノ付カヌヤウナコトニハ華族其モノハ之ヲサセナイト信ジテ居ル、ソコデ一般ノ債權者ノ方デ自分ノ權利ガ不明ニナルト云フ虞ハナ、斯ウ云フ趣意デ御答ヲ致シマシタ

○岡野敬次郎君 甚ダソコイヤウデアリマスガ、私ノハ斯ウ云フコトヲ御尋シタ、債權デアラナラバ、其債權ガ是ハ代リノモノト云フコトハ能ク分リマスケレドモ、一度ビ金錢トナッタナラバ、ドウシテ代リノモノト云フコトヲ一般ノ人ガ識別スルコトガ出來ルカ、識別シナイノニ世襲財産ノ效力ヲ有タストカ有タセナイトカ云フ問題ハ無理デアル、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデアリマス、華族ガ正直ダカラ、此財産ハ代リノ財産ダト云ッテ渡シマフトカ、渡シテシマハヌトカ、ソシナコトハ私ハ決シテ御尋スルノデハナ、ナゼ三百四條ノ此債權デアラナラバ……金錢ヲ請求スル債權ナラバ……ソレガ代リダト云フコトハ分ルガ、一度金錢ニナッタナラバ、分ラヌデハナ、分ラヌニ拘ラズ、ソレガ十九條ハ矢張り所有者ニ歸シタル財産デ、之ニ二十五條一項ノ規定ヲ準用スルト云フナラバ、金錢デア

テモ、權利ハ行ヘナイコトニナル、ソレハ大變一般ノ債權者ニハ迷惑ナル、華族ガ不正
 デアルトカ、不正デナイトカ云フヤウナコトヲ私ハ御尋シタノデハナイ、十九條ノ財産ニシテ
 十五條ノ一項ノ主義ヲ準用セラレテシマツテハ困リハシナイカ、ソレ故ニナセ二百四條ト
 違フ主義ヲ採リタカト云フノデアル、是ハ華族デアルトカ、ナイトカ云フノデハナイ、私ノハ
 權利者ト權利者ノ間ノ詰リ調和ヲ如何ニシテスルカト云フ問題トシテ御尋シタノデアリ
 マス、併シ御答ガナケレバ宜シウゴザイマス

○政府委員(豊島直通君) ドウモ事實上世襲財産ニ代ツタ金錢ニ付テハ不明ト云フ
 コトハナイト云フコトヲ信ジテ居リマス、十九條ノ規定ヲ設ケマシタノハ是ハ事實ニ於
 テ證明スルコトガ出來ルト信ジマス、今民法ノヤウニ致シマシテモ、債權ノ儘ニシテ置ク
 ヲリモ、直グ金ニ換ヘテ、其金ヲ以テ更ニ確實ナル世襲財産トナルベキモノヲ買入レルト
 云フヤウナ方法モ付クノデゴザイマス、サウ云フヤウニシテ置イテ、事實上金ノ方ハ世
 襲財産ニ變ツタト云フ證明ハ別ニ困難ナコトモナイト考ヘマシタノデゴザイマス、マアドウモ
 ソレデケヨリ御答ヘ申スコトハ出來マセヌデゴザイマス

○男爵田健治郎君 今ノ岡野君ノ御尋ニ付テモウ一ツ……事實上ト仰セラレマスル
 カラ、モウ一ツ事實ノ御尋ヲシタイノデアリマスガ、此金錢ニナツタ以上ハ甚ダ混同シ易イ
 モノデアツテ、是ガ混同セザルモノデアアル、混合セザルモノデアアルト云フ認定ハ、實際問題ト
 シテハ私ハ甚ダムツカシイモノデアラウト思ヒマスルガ、併シ今ノ御答ニ依ルト、何カ其事
 實ノ上デ或ハ更ニ第二ノ世襲財産ニナルマデノ間、別ニシテ置クト云フヤウナコトデアリ
 マス以上ハ、何カ細則カ何カ御極メニナル積リデアリマセウカ、或ハ供託デモシテ置クト
 カ何トカシテ置ク以上ハ、是ハ混同セザルモノト認定スルコトガ出來ルト云フヤウナ手續
 フ細則カ何カ極メテ置イテ……同ジ金デアル以上ハ當座ノ振込ミニテモ入レテ仕舞ヘ
 バ、ドレデケガ世襲財産ノ金デアルカ、ドレデケガ普通ノ財産ノ金デアルカ、殆ド區別ガ出
 來ヌヤウニナリマス、若シ公ノ手續ニ依ツテ、是ハ世襲財産ニ代ツタモノデアルト云フコト
 デ、供託デモサシテ置クト云フモノナラバ、成程世襲財産ガ金錢ニ代ツタモノト云フコト
 ハ公ニ認メルコトガ出來ルデアリマセウカ、事實上上ニ於テハ何カサウ云フ方法デモ御設
 ケニナルト云フ御考デアリマセウカ、其邊一ツ伺ヒタイ

○政府委員(豊島直通君) 田男爵ノ御尋ニ付キマシテハ、此世襲財産ニ代ツテ出來
 マシタル金ハ、宮内大臣ヨリ此管理人ニ管理セシムルト云フ方法モ付イテ居リマス、此
 二十條ノ末項ノ規定ニ依リマスル、宮内大臣ガ特ニ管理人ヲ選任スルコトモ出來ル
 ノデ、華族ノ選ビマシタ管理人ノミニ任カシテ置クコトニハナリマセヌ、其外代ツテ出來
 マシタル金ノ管理ニ付テ命令モ時々發セラル、コトニナツテ居リマス、此監督ヲ以チマシテ十分
 他ノ財産トハ混同シナイヤウナコトニシテ保存シテ、適當ナル第二ノ世襲財産ト云フモノ
 フ得ルマデノ保管ト云フコトヲ遂行シマスル積リデゴザイマス

○男爵田健治郎君 チョット今ノ續キヲ……此管理人ノ制度ハ二十條ニ出來テ居ル
 ヤウデアリマスガ、是ハ成程非常ナル重大ナル世襲財産ノ變更トカ云フ場合ニハ、管理
 人ハ無論置キマスデゴザイマセウガ、如何ナル場合ニ拘ラズ管理人ヲ必ズ置ケルトモ解釋
 ガ出來ヌ、ト云フモノハ宮内大臣ハ必要ヲ認メタ場合ニ管理人ヲ置ク、例ヘテ申スト華
 族ノ或ル世襲財産ノ一部ガ土地收用法ニ依テ公用ニ徴セラレタ、其代金ヲ渡サレタ

ト云フヤウナ餘リ重大ナラヌ場合ニモ拘ラズ管理人ヲ置クトモ見エヌノデ、管理人ヲ置カ
 レタトキニハ是デ區別ガ出來ルカ知レマセヌガ、管理人ヲ置ク必要ヲ認メヌ時ニハ混同シ
 易クナル、ソレヲ混合セズト認メル方法ハ何カ御設ケニナル積リデアリマセウカ、其點ヲマ
 ア一ツ伺ヒタイ

○政府委員(高橋作衛君) 唯今ノ田男爵ノ御尋ニ御答ヘ致シマスガ、矢張り施行
 細則ノ中ニ其規定ヲ置ク積リデアリマス、他日制定スベキ華族世襲財産法施行細則
 ノ第三十六條ニ、公債ノ償還アルベキ場合ニハ云々ノ規定ヲ置キマシタ、其事ノ明確ナ
 ル規定ヲ立テ積リニナツテ居リマス

○富井政章君 私ハ先ホド本案ノ内容ニ入ラスシテ全體ニ互ル根本ノ點ニ付テ二三
 ノ質問ヲ致シタノデアリマス、ソレニ付テ一應ノ御答辯ハアリマシタケレドモ、尙ホ大ニ論
 ジタイ點モアリマスルガ、ソレハ暫ク差置キマシテ、唯今本条中ノ重要ナル規定ニ付テ種
 種ノ問題ガ起リテ居リマスルカラ、私モ先ヅ其一二ニ付テ質問ヲ致シタイト思フノデアリマ
 ス、是モ矢張り世襲財産ト云フモノヲ設ケル以上ハ成ルベク其效力アラシメタイ、折角
 スウ云フ制度ヲ設ケルナラバ、其效力ガ一部分シカ生ジナイト云フヤウナコトデハ甚ダ立
 法ノ目的ヲ達シナイ譯デアリマスルカラ、其趣意ヨリ同フノデアリマス、ソレハ第三條ノ規定
 デアリマス、「有爵者カ未成年者ヲ禁治產者又ハ準禁治產者ナルトキハ世襲財産ヲ設定
 又ハ増加スルコトヲ得ス」此場合ニハ全ク世襲財産ト云フモノハ作ルコトガ出來ナイノデ
 アリマス、何カ他ニ方法ガアルノデアリマセウカ、斯ウ云フ場合ニ全ク世襲財産ヲ設定
 スルコトガ出來ナイト云フコトハ、立法ノ目的ヲ半分シカ達シナイト云フコトニナリハシナ
 イカ、寧ろ有爵者ガ準禁治產者デアルト云フヤウナトキニハ、尙更其必要ガアルデハナイ
 カ、準禁治產者ノ中ニハ浪費者ト云フヤウナ者ガアル、財産ヲ無暗ニ蕩盡スルト云フヤ
 ウナ者ガアルノデアリマス、華族ノ家産ヲ維持スルニハサウ云フコトノ無イヤウニスル爲ニ
 世襲財産ト云フモノヲ設ケルノデアアル、此場合ニ世襲財産ヲ作ルコトガ出來ナイト云フ
 コトハ、如何ニモ立法ノ目的ヲ貫徹シナイ譯デアラウカト思フノデアリマス、何故ニ後見
 人ノ如キ法定代理人ガ親屬會ノ許諾ヲ得テ世襲財産ヲ設定スルコトヲ得ルト云フヤウ
 ナ規定ヲ置クコトガ惡ルイノデアリマス、又準禁治產者ニ付テハ法定代理人ト云フ者
 ハナイノデアリマスガ、或ハ親族ヨリ申立タルトカ、或ハ此場合ニハ補佐人ガ、法定代理
 人デハナイケレドモ、親屬會ニ諮ラテ其手續ヲ爲スコトヲ得ルト云フヤウナ規定ヲ置クコト
 ガ惡ルイノデアリマス、斯ウ云フ場合ニハモウ全ク仕方ガナイト云フヤウナコトニナツテハ
 甚ダ他ノ場合ト權衡ヲ失スデアラウト思ヒマス、其點ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(高橋作衛君) 此未成年者、禁治產者、又ハ準禁治產者ノ如キ能力
 不完全ナル者ガ當主デアツタ場合ニ世襲財産ヲ設定スルコトヲ得ナイト致シマシタノハ元
 來、世襲財産ノ制度ハ是ハ永久ヲ見込シテ居リマスモノデゴザイマス、斯ノ如キ永久ノ
 世襲財産トスベキモノヲ設定又ハ増加スル場合ニ能力不完全ナルトキニ設定スルト云フ
 コトハ多少遺憾ノ點ガアルト心得マシテ、勿論法定代理人又ハ補佐人其他能力ヲ
 補フ所ノ人ハ有リ得ルトスルモ、制度自身ガ永久ヲ見込シテ居リマスト云フ所カラ安全
 ヲ圖ジテ斯ノ如キ規定ヲ立テマシタノデアリマス、而シテ又一方ニ増加或ハ設定ヲスルト
 キニ之ヲ出來得ルトスレバ一方ニ於テ解除スルコトモ其時ニ於テ出來ルト云フコトモ書カ

ナケレハナラヌコトニナラウト思ヒマス、斯ノ如キ場合ニ至ッテ一曾不層ヲ感ズルト云フコトニナリマスカラ唯今御尋ノ如キ議論ハ其當時議論ガアリマシテ、大ニ考慮ヲ要スベキモノト致シマシテ審査イタシマシタガ、結局之ヲ以テ安全ト致シマシテ此規定ヲ立テタ次第デアリマス

○委員長(公爵徳川慶久君) マダ御質問モナカノ、盡キマイト存ジマスカラ、今日ハ是デ閉會イタシマス、次回ハ何レ彙報ヲ以テ報告イタシマス

午後零時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵徳川 慶久君

副委員長

富井 政章君

委員

伯爵柳澤 保惠君

男爵小澤 武雄君

子爵平田 東助君

子爵岡部 長職君

子爵酒井 忠亮君

子爵水野 直君

奥田 義人君

岡野敬次郎君

男爵田 健治郎君

男爵本多 政以君

桑田 熊藏君

國務大臣

司法大臣 尾崎 行雄君

政府委員

法制局長官 高橋 作衛君

司法省參政官 田川大吉郎君

司法省副參政官 關 和知君

司法省法務局長 豐島 直通君

大正四年十二月十八日印刷

大正四年十二月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局